

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの作成日: 平成 29 年 7 月 3 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	法人理念を玄関に掲示しているが、職員一人ひとりが理念の意義や目的を完全に理解できていないので、朝の申し送り時や、職員会議で理念について職員間で話し合い、利用者本位の介護サービスが提供できるように取り組んでいく。	法人理念を基に、職員の心得や年間目標をつくり、その目標が日々の介護の中で活かされているかを、定期的に確認し、時には理念を職員間で唱和し、理念の認識とチーム介護に向けた取り組みを実践していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員に頑張ってもらっているが、これからのグループホームを背負って立つ若手の職員に、経験を積んでもらい、介護技術の向上と意識の高揚を図っていく。	外部の研修会に職員の習熟度や、やる気に合わせて交代で参加してもらい、外部の新鮮な風に当たり、介護知識や情報を習得し、技術の向上を図り、職員一人ひとりが意欲的に働ける職場環境を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。